

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害用井戸設置事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鶴巻 浩二			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	災害時における飲料水、生活水の確保を図る。
事業内容	災害時における生活水の確保を図るため、指定緊急避難場所・指定避難所となる小・中学校や公民館等に災害用井戸を設置するとともに、既設の災害用井戸について水質検査を実施する。また、災害用井戸に、ろ水機、商用電源、発電機、ろ過装置、タンク、給水蛇口等からなる災害用井戸ポンプ施設の整備を検討する。			
事業開始から現在までの状況変化	生活水確保のため、平成8年度から本事業を開始したが、平成24年5月19日に発生した断水事案を契機として、生活水のほか、飲料水の確保についての重要性が高まっている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		整備件数	31	31	32	件	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						算定式（成果指標の場合）
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度に総合運動公園内の防災広場に新たに災害用井戸を設置したことで、災害用井戸の設置件数が32か所となった。 井戸の電動化については、老朽化したものや修繕が必要なものについて検討することとし、当面の間は、水質検査のみを実施する。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	8,879,376	4,365,192	4,672,940				
事業費(b)(円)	6,806,376	2,859,192	3,299,940				
うち一般財源	6,806,376	2,859,192	3,299,940				
職員給与費(c)(円)	2,073,000	1,506,000	1,373,000				
人役・職員(人)	0.30	0.20	0.20				
人役・再任用(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	既設井戸の電動ポンプ化工事は当面の間、実施せず、水質検査を実施し、生活水及び飲料水の確保に努める。	取組の課題	既存の災害用井戸の計画的な保守点検が必要である。
今年度(H28)に実施した取組	既設の災害用井戸について、水質検査を実施した。	今後の改善計画	水質検査(年1回：原水と浄水)の検査対象について、削減の余地がある。